

平成23年10月

漁船海難隻数 (速報値)	
衝突	10
乗揚	3
転覆	0
浸水	0
推進器障害	0
舵障害	0
機関故障	0
火災	1
爆発	0
行方不明	0
運航障害	2
安全障害	0
その他	0
<b>合計16隻</b>	
県別 (内訳)	
山口県	1
福岡県	7
佐賀県	0
長崎県	8
大分県	0

漁船人身事故者数	
負傷	1
病気	0
海中転落	2
その他	0
<b>合計3名</b>	

**【10月の漁船海難16隻のうち、衝突海難が10隻(7件)】**

10隻(7件)の衝突原因をみると、「相手船に気づいていない、若しくは、相手船に気づくのが遅れ、避ける余地がなかった」などの

**《見張り不十分！！》**

が、なんと**8隻**を占めています。右の表を見ると、ぼんやりと航行していた漁船が4隻で、この内、レーダーを搭載していたにも関わらず利用していなかった漁船が3隻いました。

**【見張り不十分で衝突した8隻の漁船の衝突時の航行形態】**

- ・ぼんやりと航行 4隻
- ・錨泊中(操業中、仮眠中含む) 4隻

船舶は、衝突するおそれがあるかどうかを判断するために、状況に適した全ての手段を活用しなければなりません。

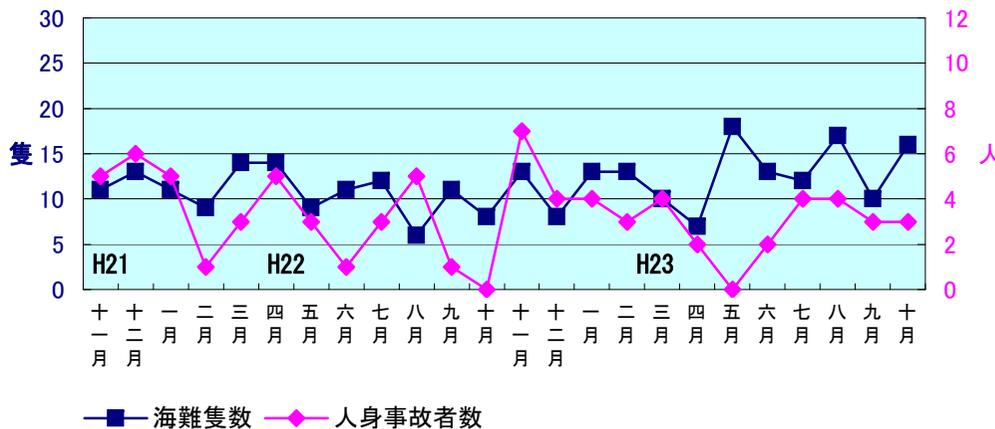
このための有効な手段の一つとしてレーダーがあります。レーダーなどのあらゆる手段を利用して、衝突のおそれが少しでもある場合、衝突するおそれがあるかどうか判断できない場合には、**十分余裕のある時期にためらわずに衝突回避の動作をとりましょう！**

**衝突してからでは遅いのです！！**

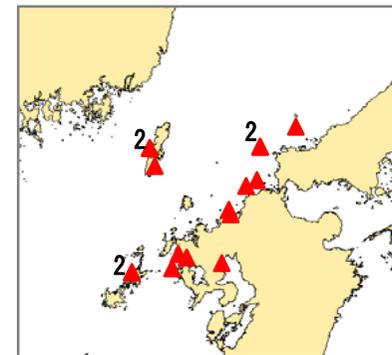
十月の漁船海難隻数は**十六隻！**  
航行中・操業中の見張りを十分に  
行い、**早めの衝突回避に努めま**  
**しょう！**

**○安全第一！！ 早めの衝突回避を行いましょ！**

漁船海難発生隻数及び漁船における人身事故者数の推移



平成23年10月  
漁船海難発生地点



県別の表は、各県に所在する海上保安部署において取り扱った海難の合計数を示しています。

漁船海難月報 (速報)

平成二十三年十月分

第七管区海上保安本部